



平成30年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社ユーザーローカル 上場取引所 東
 コード番号 3984 URL http://www.userlocal.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 伊藤 将雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO 管理部長 (氏名) 岩本 大輔 TEL 03(6435)2167
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第2四半期の業績（平成29年7月1日～平成29年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第2四半期	528	15.5	254	33.2	254	33.1	160	23.6
29年6月期第2四半期	457	—	191	—	191	—	129	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第2四半期	44.25	41.51
29年6月期第2四半期	38.06	—

(注) 1. 当社は、平成28年6月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、平成29年6月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 平成29年6月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第2四半期	2,237	2,013	90.0
29年6月期	2,066	1,850	89.6

(参考) 自己資本 30年6月期第2四半期 2,013百万円 29年6月期 1,850百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年6月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年6月期の業績予想（平成29年7月1日～平成30年6月30日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,064	10.1	408	6.0	408	8.1	265	1.7	73.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年6月期2Q	3,646,100株	29年6月期	3,618,100株
② 期末自己株式数	30年6月期2Q	－株	29年6月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年6月期2Q	3,627,383株	29年6月期2Q	3,413,100株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、平成30年2月16日（金）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。
当日使用する四半期決算説明会資料については、説明会終了後速やかに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成29年7月1日から平成29年12月31日)におけるわが国の経済は、企業収益の改善、設備投資の持ち直し、雇用・所得環境の改善等により、緩やかな回復基調が続いております。

一方、世界経済においては新興国経済の景気回復の兆しがみられたものの、北朝鮮情勢等地政学的リスクを抱え、不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社はデータクラウド事業において、当社のコアプロダクトである「User Insight」、
「Social Insight」、「Media Insight」、働き方改革を推進するソリューションである「サポートチャットボット」の機能強化及び、ディープラーニングを活用した人工知能ソリューションの開発を目的として、ビッグデータを処理する基幹システムの拡張・強化、アルゴリズムの開発・実装、ビッグデータを解析するデータサイエンティストの教育・育成に注力し、パフォーマンスのさらなる向上に努めてまいりました。

また、営業面においては人員数及び組織的な営業管理体制の両面で強化を行い、新規取引先の開拓等の事業展開に対する販売促進活動に注力してまいりました。

以上の取り組みの結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高528,085千円(前年同四半期比15.5%増)、営業利益254,752千円(前年同四半期比33.2%増)、経常利益254,782千円(前年同四半期比33.1%増)、四半期純利益160,521千円(前年同四半期比23.6%増)となりました。

なお、当社はデータクラウド事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産につきましては、前事業年度末に比べて170,706千円増加し、2,237,046千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加(前事業年度末比171,157千円の増加)によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末に比べて8,085千円増加し、223,432千円となりました。これは主に、未払法人税等の増加(前事業年度末比30,428千円の増加)によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べて162,622千円増加し、2,013,614千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加(前事業年度末比160,522千円の増加)によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末と比較し171,157千円増加し、2,044,496千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは176,943千円の収入(前年同期は133,634千円の収入)となりました。これは主に、税引前四半期純利益が254,782千円、法人税等の支払いによる支出64,416千円、減価償却費12,387千円の計上、前受金の減少12,226千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは7,886千円の支出(前年同期は42,550千円の支出)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出7,886千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは2,100千円の収入(前年同期はなし)となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行による収入2,100千円があったことによるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年8月9日の「平成29年6月期 決算短信」で公表致しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,873,339	2,044,496
売掛金	76,882	69,749
その他	25,263	30,586
流動資産合計	1,975,486	2,144,832
固定資産		
有形固定資産	39,283	41,957
無形固定資産	1,256	886
投資その他の資産	50,314	49,369
固定資産合計	90,854	92,213
資産合計	2,066,340	2,237,046
負債の部		
流動負債		
前受金	81,272	69,045
未払法人税等	72,206	102,634
その他	61,869	51,752
流動負債合計	215,347	223,432
負債合計	215,347	223,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	529,507	530,557
資本剰余金	514,507	515,557
利益剰余金	806,978	967,500
株主資本合計	1,850,992	2,013,614
純資産合計	1,850,992	2,013,614
負債純資産合計	2,066,340	2,237,046

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
売上高	457,249	528,085
売上原価	52,049	41,437
売上総利益	405,200	486,648
販売費及び一般管理費	213,889	231,896
営業利益	191,310	254,752
営業外収益		
受取利息	26	30
還付加算金	23	—
営業外収益合計	49	30
経常利益	191,360	254,782
税引前四半期純利益	191,360	254,782
法人税、住民税及び事業税	62,053	95,439
法人税等調整額	△609	△1,178
法人税等合計	61,443	94,260
四半期純利益	129,916	160,521

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	191,360	254,782
減価償却費	18,886	12,387
受取利息	△26	△30
売上債権の増減額 (△は増加)	3,564	7,133
前受金の増減額 (△は減少)	684	△12,226
未払金の増減額 (△は減少)	10,267	△6,143
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△6,526	△4,717
その他	67	△9,855
小計	218,278	241,329
利息の受取額	26	30
法人税等の支払額	△84,669	△64,416
営業活動によるキャッシュ・フロー	133,634	176,943
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,563	△7,886
差入保証金の差入による支出	△23,987	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,550	△7,886
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	2,100
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	2,100
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	91,083	171,156
現金及び現金同等物の期首残高	1,061,863	1,873,339
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,152,947	2,044,496

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、データクラウド事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。